

青森圏域

大規模氾濫時の減災対策協議会

取組状況

青森市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：堤川、駒込川、沖館川、西滝川等20河川】

■ハード面

【貴船川都市基盤河川改修事業】

二級河川貴船川の洪水等の災害発生の防止、河川環境の整備と保全を図るため河川改修事業を実施

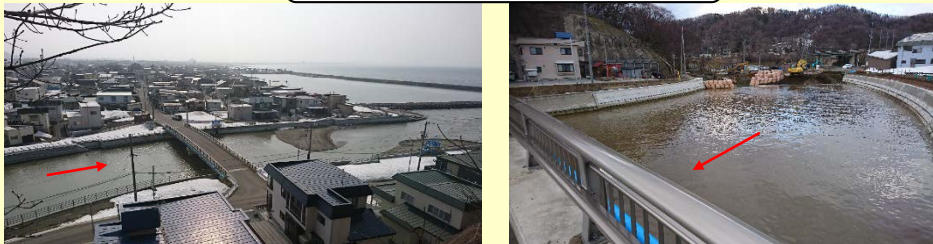
■改修延長：700m ■事業期間：H16年度～H33年度

【平成29年度の主な実施内容】

■これまでの経緯

- ・平成16年度 河川改修事業着手
- ・平成22年度～24年度 1号橋施工
- ・平成26年度 1号排水樋門竣工、護岸整備
- ・平成27年度 右岸取付道路竣工、護岸整備
- ・平成28年度 左岸取付道路竣工、護岸整備
2号排水樋門竣工、旧橋撤去
1号橋開通、河道掘削完了
- ・平成29年度 5号排水樋門地質調査、詳細設計
用地測量

平成29年度までの整備状況



【平成30年度の主な実施内容】

■平成30年度の事業予定

- 委託業務(6号排水樋門地質調査、詳細設計)
- 用地買収、補償業務

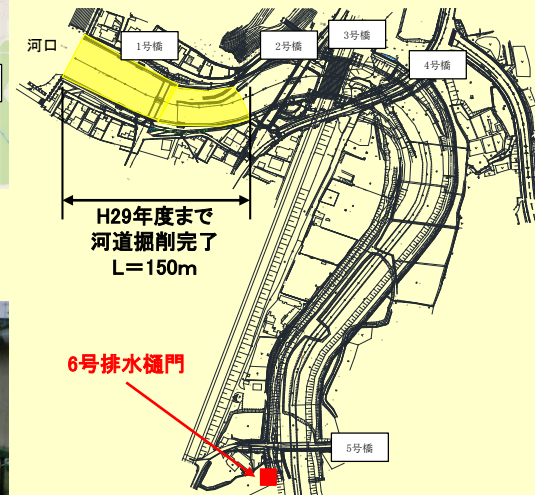


平成11年度の氾濫状況



施工区間

事業実施状況



青森市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：堤川、駒込川、沖館川、西滝川等20河川】

■ソフト面

【平成29年度の主な実施内容】

○自主防災組織の結成・育成を促進

自主防災組織の強化・育成のため、自主防災組織育成事業補助金の支給要件を緩和

※防災訓練費助成(補助率1/2)
上限5万円を10万円に拡充



○避難所の整備

防災活動拠点施設(小学校等)に整備している市街地表示式避難地案内板を災害対策基本法に基づく避難所標識板を更新しました。

○防災情報システムの整備

防災体制の強化を図ることを目的に、防災情報システムの「基本設計」を実施しました。



【平成30年度の主な実施内容】

○洪水タイムラインの作成

市内河川を対象とした洪水タイムラインの作成に着手

○防災拠点機能の整備

防災活動拠点施設とバックアップ施設の機能強化を図ります。

- ⇒ 中学校等を防災活動拠点施設のバックアップ施設に位置付け、備蓄物資を配備
- ⇒ 高齢者や乳児のための飲料水の備蓄
- ⇒ 特設公衆の電話回線を敷設した防災活動拠点施設等への電話機の整備



○防災情報システムの整備

平成29年度実施の「基本設計」に基づき、災害対策本部機能に係る「実施設計」を行います。

平内町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：小湊川、盛田川、明神川、長沢川、清水川、堀差川】

【平成29年度の主な実施内容】

○避難訓練及び勉強会を実施

- ・ 水害に関する知識の向上と心構えをもつための避難訓練及び勉強会を実施



左写真：
外童子地区避難訓練
H29.8.14撮影



右写真：
新生町地区勉強会
H29.11.4撮影

【平成30年度以降の主な実施内容】

- ・ 平成21年度に作成済みの洪水ハザードマップを、想定し得る最大規模の降雨を前提とした洪水浸水想定区域に基づき修正する。
- ・ 洪水浸水の危険性がある要配慮者利用施設は、町内に1施設あり、未作成である避難計画の作成を早期に促し、それに基づき避難訓練を実施する。
- ・ 避難勧告等の発令基準については、平成27年度修正の「平内町避難勧告等の判断基準及び伝達マニュアル」に基づいているが、水位の把握ができない河川における基準や、具体的な対応を想定した「水害対応タイムライン」を、今後作成に向けて検討していく。
- ・ 避難訓練については、これまで地震津波を中心とした避難訓練が主であったが、洪水を想定した避難訓練を実施していく。

今別町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：長川、今別川】

【平成29年度の主な実施内容】

- ・ハザードマップを作成し周知活動。
- ・庁舎等の機能確保のための非常用発電機等の設置。
- ・水防団員（消防団員）募集のポスター等による広報活動。
- ・平成29年8月24日午後10時頃、二股地区の川が大雨により水位が上昇し、二股消防団と町職員で巡視し待機した。
また、地区会館を自主避難所として開設した。

【平成30年度の主な実施内容】

- ・地域防災計画を今別町の現状に見合う内容とするための修正を行う。
- ・防災無線デジタル化に着手する。
- ・各消防団の設備・備品等の充実を図る。
- ・防災マップ等を活用した避難訓練等の実施。
- ・今別町の防災マップに掲載されているハザード情報等の浸水想定区域の住民への周知を行なう。

外ヶ浜町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：元宇鉄川、算用師川、増川川、湯ノ沢川、蟹田川】

【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 町内の同報系の防災無線のデジタル化を完了した。
- ・ 平館根岸地区の自主防災組織の避難訓練への参加。
- ・ 町内の高齢者福祉施設、障害者福祉施設を福祉避難所として指定し、運営訓練、研修会も行った。

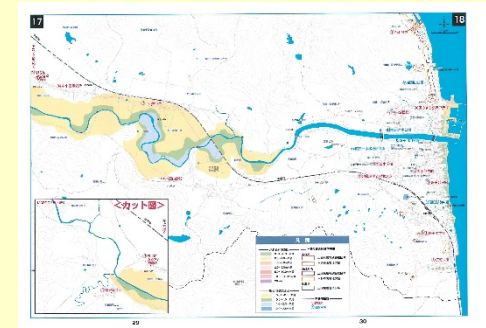


福祉避難所開設運営訓練及び研修会 (H30. 3. 23撮影)

- ・ 平成29年7月22日(土) 早朝の大雨により大雨洪水警報及び土砂災害警報が発表され、蟹田川南沢基準点が警戒水位を超えたため町職員と地区水防団員が巡視した。
- ・ 町役場倉庫に水防資機材(土のう等)の備蓄を行った。

【平成30年度の主な実施内容】

- ・ 平成19年3月に策定されて以来修正されていない外ヶ浜町地域防災計画を町の現状の見合う内容とするための修正に着手する。
- ・ 防災無線の難聴地域の把握・改善。
- ・ 外ヶ浜町防災マップに掲載されている蟹田川の洪水ハザード情報の、浸水想定区域の住民への周知徹底を行う。



外ヶ浜町防災マップの表紙(左)と蟹田川流域の頁(右)

- ・ 福祉避難所の運営訓練、研修会の開催。
- ・ 各水防団の設備、備品等の維持・充実。

蓬田村 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：瀬辺地川、小川平川、広瀬川、阿弥陀川、四戸橋川】

【平成29年度の主な実施内容】



〈ふるさと総合センター〉

設置した発電機

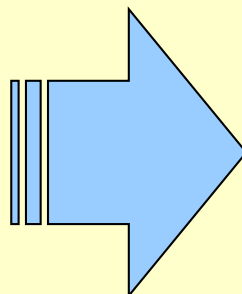


○庁舎及び主要避難所へ非常用発電機を配置

- ・庁舎、保育園、ふるさと総合センター、小学校、中学校の5カ所に移動式発電機を設置

○防災行政無線の機器更改を実施予定 (新デジタル方式)

- ・平成30年度実施に向けて実施設計書を作成



【平成30年度の主な実施内容】

○防災マップを作成し毎戸配布を実施予定

- ・B4版(見開きB3横型)冊子タイプ・20ページ前後



サンプル(イメージ)

○防災行政無線の機器更改を実施予定 (新デジタル方式)

- ・デジタル防災行政無線(同報系)設備
(新方式・QPSK)
- ・村指定避難所、福祉避難所等に個別受信機を設置(約30カ所)
- ・親局を現庁舎から、ふるさと総合センターに移動し、災害発生時の即時対応に備える

野辺地町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：野辺地川、枇把野川、与田川、湯沢】

【平成29年度の主な実施内容】

○防災教育の推進

・防災教育、出前講座の実施

小学校の参観日（若葉小学校：約300人）

高齢者の集会（新町自治会：約20人）

町内会の集会（社会福祉協議会：約50人）

で防災講話を実施した。



若葉小学校 平成29年12月5日



社会福祉協議会 平成29年7月21日



新町自治会 平成29年9月17日

【平成30年度の主な実施内容】

○自主防災組織の活動支援及び防災士の資格取得支援（水防体制の強化）

・平成30年度から自主防災組織の活動に対し、30,000円を上限に補助する。

・平成30年度から自主防災組織に対し、防災士養成講座の受講費を半額補助する。

○避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認

・現在の「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」は、平成23年に作成したもので運用しているため、平成30年度見直ししたい。

○水防団員の募集

・団員募集に関するチラシを町内会に配布

・女性消防団員の勧誘

横浜町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：三保川、平山沢川、鶏沢川、桧木川】

【平成29年度の主な実施内容】

- 水防団員の募集
 - ・ 団員募集に関するチラシを公共施設へ配布
 - ・ 各分団への人材確保に関する依頼を実施
 - ・ 町内会長会議で各会長へ人材確保に関する依頼を実施
- 自主防災会の参画を促すための広報
 - ・ 町のホームページ
 - ・ 町内会長会議で各会長へ依頼
- 水防団同士の連絡体制の確保
 - ・ 団員同士の連絡網を作成し共有

【平成30年度の主な実施内容】

- 水害対応タイムラインの作成
 - ・ 水位周知河川及び洪水予報河川以外の河川について、他市町村の先行事例や県の助言をもとに作成
- 水防団等の技術力向上のため水防工法訓練等に参加
 - ・ 関係機関が実施する水防工法訓練に団員を参加させる

青森地方気象台 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

- ・大雨警報（浸水害）洪水警報の発表基準を変更
- ・市町村内のどこで危険度が高まっているか、確認できる危険度分布の予測（メッシュ情報）の提供

気象庁HPで提供



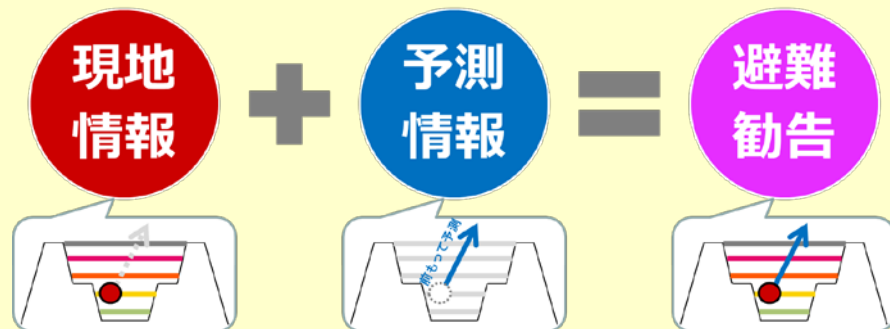
- ・「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」も気象庁HPで提供

【平成30年度の主な取組み予定】

平成29年から警報等が発表されたときに、実際に危険度が高まる時間帯と場所を把握できる情報の提供を開始。

今後は、市町村の防災担当者や住民が、現地情報と合わせることで、避難勧告や避難開始を判断できるように周知・啓発に努めていく。

市町村長の避難勧告
住民の主体的避難



色が持つ意味	説明	内閣府のガイドラインの発令基準に対応する避難情報
極めて危険 すでに基準Ⅲに到達	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水害発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	
非常に危険 3時間先までに基準Ⅲに到達すると予測	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生するおそれが高い。水位が氾濫注意水位等を越えている場合には速やかに避難を開始する。	氾濫注意水位等を越えていれば 避難勧告
警戒（警報級） 3時間先までに基準Ⅱに到達すると予測	水位が水防団待機水位等を越えている場合には避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	水防団待機水位等を越えていれば 避難準備 ・高齢者等避難開始
注意（注意報級） 3時間先までに基準Ⅰに到達すると予測	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

青森県防災危機管理課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・青森市、八戸市などで防災全般に関する講習会等を計16回開催



○広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・平成30年3月13日に弘前市内、3月19日に八戸市内で開催された国主催の減災対策協議会勉強会において、構成員に対し広域避難計画に係る講演を実施

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・市町村の防災訓練に対する指導及び支援、県と市町村の共同訓練を県内5市町で実施

【平成30年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・昨年度に引き続き、要望に応じて講習会を開催
- ・今年度、県内全世帯に配布する「青森県防災ハンドブック」を用いた普及啓発



○広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・市町村の広域避難計画の作成支援（指導・助言、市町村間の調整等）

○市町村が実施する訓練の支援等

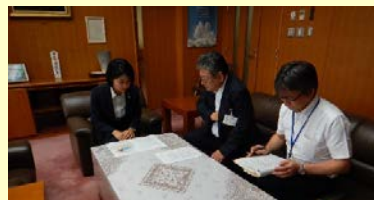
- ・市町村の防災訓練に対する指導及び支援、県と市町村の共同訓練の実施（H30年度現時点では3市町）

青森県河川砂防課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

○ホットラインの構築及び運用

- ・河川管理者（県）から市長村長へ直接、河川水位の状況及び危険度のレベルを的確かつ確実に提供する体制（ホットライン）を構築。



ホットライン構築のため首長へ説明
(H29. 7. 31 外ヶ浜町長)

- ・平成29年8月の豪雨では、蟹田川（外ヶ浜町）において、24日22時40分に避難判断水位を超過。この直後、ホットラインにより山崎町長へ直接情報提供を行った。



同上 (H29. 8. 4 平内町長)

○避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成に着手

- ・堤川、駒込川において、避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成に着手



H30.3.22撮影

【事例】五所川原市との十川における検討会の様子

○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成

- ・堤川、駒込川、沖館川、西滝川、小湊川、野辺地川、枇杷野川の7河川において、最大規模降雨による浸水想定区域等について検討
- ・平成30年度の公表を予定

○浸水実績図の作成、公表

- ・洪水被害に対するリスクを地域住民に周知するため、明神川（平内町）等において、過去の洪水を対象とし痕跡調査結果を基に作成し、県のホームページで公表

○重要水防箇所合同巡視

- ・水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等により、洪水に対しリスクの高い箇所を合同で巡視
- ・平成29年度は、県水防倉庫、駒込川外2河川において実施



県水防倉庫
(H29. 7. 20撮影)



H28台風10号における洪水
流の主な浸入経路

駒込川桐ノ沢地区
(H29. 7. 20撮影)

○出前トークの実施

- ・水害に関する知識の向上と心構えの醸成のため出前トークを実施



左写真：
デイケアアストラル
(青森市、H29. 8. 7撮影)

右写真：カダールフェスタ
(青森市男女共同参画プラザ)
にて市民を対象に実施
(H30. 1. 21撮影)



青森県河川砂防課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

○危機管理型水位計等の設置

- ・ 住民避難や水防活動に資する基盤整備として、県内80箇所に設置することとした危機管理型水位計のうち、青森圏域においては、三保川（横浜町）及び長川（今別町）等、22河川22箇所に設置



○緊急排水計画の策定に着手

- ・ 氾濫発生時における氾濫水の排水による浸水継続時間短縮を図るため、緊急排水計画の策定に着手
- ・ 浸水継続時間の短縮により、氾濫被害軽減、緊急輸送路の早期確保及び被災地の早期復旧等が図られる
- ・ 平成30年度は、アンケート等により民間及び圏域市町村のポンプ保有状況を調査し、排水ポンプの緊急配備における実効性や課題等の検証を行う



○重要水防箇所の合同巡視

- ・ 水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の合同巡視を継続して実施。

＜H30重要水防箇所
合同巡視実施予定河川＞

実施予定河川	対象市町村
新城川	青森市
天田内川	

＜危機管理型水位計設置予定河川＞

市町村	設置河川	市町村	設置河川	市町村	設置河川
青森市	合子沢川等9河川	平内町	盛田川等3河川	今別町	長川
外ヶ浜町	蟹田川等4河川	蓬田村	阿弥陀川等3河川	野辺地町	与田川
横浜町	三保川				